

日本精密測定機器工業会 広報誌

SOKUTEI

2026 January vol.2

測定で
日本の製造業を
盛り上げる





ナティの 測定辞典 vol.2

ノギス編

「ノギス」ってなんだベン?

やっぱー!SOKUTEIペンギンのメティベン!

今日は、はかる道具の中でもとーても有名な「ノギス」についてお話しするベンよ~。

ノギスって、どんな道具?

ノギスはね、モノの長さや厚み、内側や外側の直径、段差、深さをひとつでいろいろはかっちゃうスゴい道具なんだベン。

ふつうの定規よりもず~っと正確で、なんと0.01mmまで読めるものもあるベン!

しかもノギスには「外側をはかる」「内側をはかる」「段差をはかる」「深さをはかる」って4つのかり方があるんだベン。

小さな部品の「ちょっとした差」も見逃さない、まさに“職人のものさし”ベン!

どんなところで使われてるの?

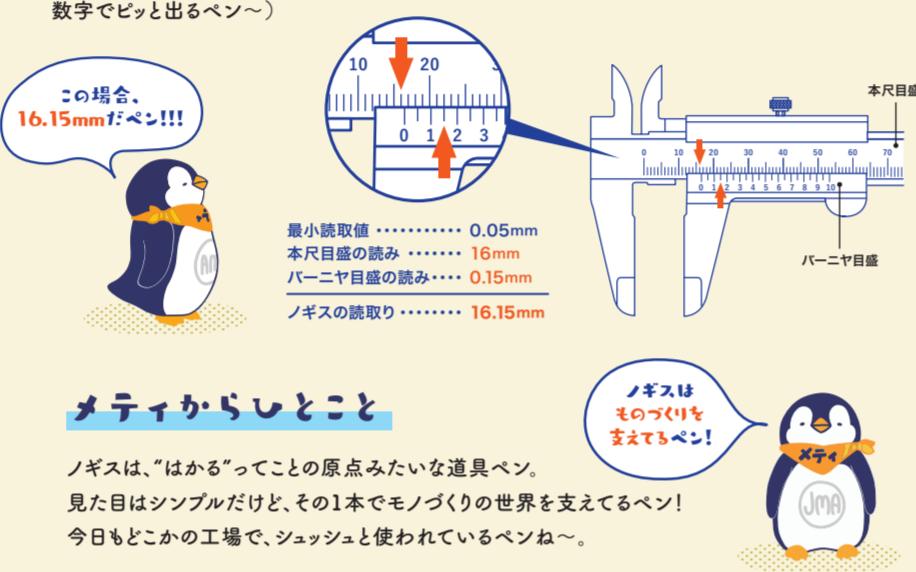
ノギスは、精密部品の検査、学校の実験、研究室だけじゃなくて、農家さんや水産加工場など、いろんな場所で使われてるベン。

たとえば金属の棒の太さ、穴の直径、バースの深さ…みんなノギスでチェック!

びったり合う部品を作るためには、こういう正確な測定が欠かせないベンね~。

どうやって読むの?

ノギスには「本尺」と「副尺(バーニヤ)」があって、ふたつの目盛りを合わせて読むんだベン。ちょっと慣れがいるけど、読み方を覚えると気持ちいいベンよ!(デジタルノギスなら、数字でピッち出るベン~)



新規会員のご紹介

New Membership



SCANTECH (HANGZHOU) CO., LTD
包括的な3Dスキャンソリューションのグローバルプロバイダー

SCANTECH(杭州)有限公司は、高精度3Dスキャナーおよび3D計測ソリューションの研究開発・製造を行うグローバルメーカーです。独自の光学、アルゴリズム技術により、業界トップクラスの精度と安定性を実現しています。CNAS認証を取得した自社ラボを保有し、製品品質と計測精度を厳密に管理しています。自動車・重工業・製造業を中心に、日本の多くの大手エンジニア様へ導入実績があります。



Shining3D Technology Japan株式会社
高精度3Dビジョンの技術と応用の普及

私たちは2004年より光学式3D計測技術に注力し、精度と革新性を追求してまいりました。当社製品は、高精度、高密度、卓越したテクスチャ品質、そして詳細な形状ディテールで知られています。SHINING 3D精度試験所は、CNASによるISO/IEC 17025:2017認証を取得しています。当社の校正手順はVDI/VDE 2634規格に厳密に準拠しており、最高レベルの技術精度を保証します。この品質へのこだわりは、企業、業界、そしてお客様の製品研究、試験、製造ニーズに信頼性の高い品質保証を提供します。



安田倉庫株式会社

Logistics, Progress, Borderless.

安田倉庫は、1919年(大正8年)の創立以来、大消費地である首都圏・関西圏を中心に拠点を展開し、お客さまの物流の効率化をサポートしています。また、倉庫・物流サービスにとどまることなく、精密機器のカスタマイズや事務プロセス効率化支援などのお客様の課題解決に資するサービスを行っています。従来の経験にとらわれない柔軟な発想力と創造力をもとに、お客さまのニーズへスピーディにお応えする高品質な物流サービスと不動産サービスをご提供いたします。



Tebiki株式会社

現場ノウハウと人材スキルを一元管理

Tebiki株式会社は「現場の未来を切り拓く」ミッションに掲げ、次の2つの現場支援システムの開発と提供をおこなっています。tebiki現場教育は、現場で簡単に動画マニュアルを作成し、従業員ごとの教育進捗状況の管理ができるクラウド教育システムです。tebiki現場分析は、設備点検や製造日報など現場帳票をデジタル化し、帳票の作成、記録、承認、分析が簡単にできるデジタル帳票サービスです。教育と分析の面から現場KPIの改善に貢献することで、幅広い業種のお客様にご採用いただいております。



Orbray株式会社

切る、削る、磨く。

私たちの事業はダイヤモンドやサファイアなどの素材の育成から、「切る、削る、磨く」の工程を一貫生産する工業用宝石を基軸として、専門性の高い産業分野において、多様なニーズに応えるコアサービス及び製品の開発、製造に携わっています。お客様の想いに一つ一つ丁寧に寄り添い、要望に真摯に答える『オーダーメイド技術力』、全自動・機械化では成し得ない「匠の技」を武器に、通信、半導体、ロボット、精密機器、医療機器化と多種多様なニッチマーケットで高い評価をいただいております。



測定計測展

MEASURING TECHNOLOGY EXPO 2025

日時 2025.9.10(水)～12(金) 10:00-17:00

場所 東京ビッグサイト 西1ホール

測定計測展 2025では当工業会の合同技術委員会/三次元測定機部会が主催して、9月10日にセミナーを開催いたしました。今回のテーマは「計測で創る、ものづくりの未来」です。本セミナーに89名の方にご参加いただきました(内ウェビナー38名)。ユーザー、商社、メーカーの皆様にご参加いただき、三次元測定機をはじめとする測定技術向上のため、どのように

な目的・考え方で測定技術を学べばよいのか具体例を示しながら説明いたしました。ご参加いただいた方からは、最先端の計測方法を得られ、わかりやすいセミナーだったとご好評いただきました。



時 間	講演内容	講 師
10:05～11:00	高精度X線ミラー製造のための超精密形状計測技術	東京大学 先端科学技術研究センター 超精密製造科学分野 三村 秀和 氏
11:05～12:00	光ファイバプローブを用いた微細形状測定機の開発	北九州市立大学 國際環境工学部 機械システム工学科 村上 洋 氏
13:00～13:45	X線CT測定の精度保証～基準ゲージの開発～	国立研究開発法人産業技術総合研究所 計量標準総合センター 工学計測標準研究部門 幾何標準研究グループ 渡邊 真莉 氏
13:50～14:30	CMMの温度耐性向上に関する取り組み ～工場環境での精密測定への対応、環境負荷低減をめざして～	株式会社ミツトヨ 研究開発本部 計測技術開発部 井上 友人 氏
14:45～15:10	三次元測定機を用いた真円度測定の高精度化トライアル	鹿児島県 工業技術センター 生産技術部 岩本 竜一 氏
15:10～15:35	プラスチック製低剛性製品における精密測定の考察	地方独立行政法人 岩手県工業技術センター 電子情報システム部 和合 健 氏
15:35～16:00	日本唯一!都産技研にしかないJCSS校正と日本初! 「全自動・レベル出し調整装置」共同開発	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 技術支援本部 技術支援部 実証試験技術グループ 三浦 由佳 氏
16:00～16:25	金属AM技術の可能性と信頼性向上を支える測定計測技術	福岡県工業技術センター 機械電子研究所 生産技術課 生産システムチーム 山田 泰希 氏

スタンプラリー&フォトスポット

Stamp Rally & Photo Spot

スタンプラリー参加企業 10社!



展示会を楽しみながら会員企業ブースを回れるように、

各ブースへ設置した2次元コードからスタンプを集めるデジタルスタンプラリーを実施しました。
また、工業会のブースへ、メティと一緒に写真が撮れるフォトスポットを設置しました。

スタンプラリーには、3日間で386人の方にご参加いただきました。ご参加された方には、抽選で会員企業のノベルティや、メティグッズをお配りしました。フォトスポットでは、スタンプラリーの景品が当たった方が記念写真を撮影したり、展示会来場の思い出として撮影されたりする方が多く見られました。

会員企業からは、ブースの訪問者が増加した。普段あまり訪れない若年層の訪問により活気が出たというお声をいただきました。SNSには、スタンプラリーの感想やフォトスポットの写

真の投稿も見られました。イベントを通じて、来場者と会員企業の交流が深まり、展示会の盛り上がりに少しでも寄与できたのは、工業会としても成果だと考えています。今回のようなイベントも含め、活動を通じて、測定業界の発展に貢献することは、工業会としての使命の一つであると考えています。今後も、楽しみながら測定について知る企画を提供してまいります。

MEASURING TECHNOLOGY EXPO 2025

第192回 理事会 (2025年12月18日 開催)

第192回 議事録

議題

- ① 工業会生産・販売状況
- ② 貸借対照表、損益計算書、収支計算書
- ③ 2025年度中間事業計画等実施状況
- ④ 審議事項
 - ・第56回 顕彰者ご承認
 - ・理事選任
 - ・第193回 理事会場所の決定

工業会生産・販売状況

当工業会の2025年の販売額合計は、10月までの実績に基づき87,140百万円となり、前年同期比で3.37%の減少を示しています。10月までの実績の平均値は8,714百万円であり、これを基に11月と12月の販売額を推計すると、年間の販売額合計は約1,046億円(前年比96.1%)になると予測されます。販売額は2024年と比較して減少していますが、今年の10月までの受注状況は前年同期比で101.6%の微増を示しており、回復の兆しが見られます。しかし、ロシア・ウクライナ戦争の長期化や、資源価格の高騰、物価の上昇など、日本の製造業に対する影響が不透明であることを考慮し、来年度の販売見込み額は今年度と同程度の1,130億円程度を目指す方針です。

貸借対照表、損益計算書、収支計算書の説明をおこないご了承いただいた。

2025年度中間事業計画等実施状況説明

測定計測展 2025 会期:2025年9月10日(水)～12日(金)

	出展社数	小間数	総入場者数
2025年	61社 (6展合計:304社)	122小間 (6展合計:528小間)	9,643人 (6展合計:51,084人)
2023年	57社 (5展合計:382社)	112小間 (5展合計:706小間)	11,333人 (5展合計:51,553人)

・スタンプラリー

第一測定製作所、テクロック、マグネスケール、ダイセイ、レニショード、東京精密、日本ゲージ、ミツトヨ、Orbray、尾崎製作所、日精測

・フォトスポットコーナー

・機関誌「SOKUTEI」創刊号配布

JIMTOF 2026 会期:2026年10月26日(月)～31日(土)

改修工事:東展示棟4-6ホール ▲25,690m²(全体面積の21.7%)

(1)調整方針

・出展者数については持続可能性を考慮しJIMTOF2024の出展社数維持に努める

・効率的な小間調整を図るためゾーニングの一部を変更

(2)収容可能小間数

・約4,471小間(JIMTOF2024実績:5,744小間)

(3)削減小間数(削減率)

・工業会として2024年同様、3小間確保した

JIS関連(改訂・改正)

1. JIS B 7502(マイクロメータ)

2024年2月 区分Bで、日本規格協会に原案作成に関する応募申込書提出済、原案作成期間2024年7月1日～2025年2月28日 日本規格協会で作業中

2. JIS B 7524(すきまゲージ)

2025年10月 区分Cで、日本規格協会に原案作成に関する応募申込書提出済、原案作成期間2025年10月1日～2026年5月31日

審議事項

・第56回 顕彰者ご承認

計算式から会員8社より顕彰該当者の推薦をおこないご承認いただいた。

・理事選任

理事全員兼任をご承認いただいた。

新理事候補のご承認:ハイデンハイン(株)

本日の理事会において、理事の重任・新理事就任の提案についてご承認をいただいた。尚、理事の重任・交代・退任・新理事の就任は通常総会での承認後、就任する。

・第193回 理事会場所の決定

日時:2026年4月16日(木)～17日(金)

場所:フェニックス・シーガイア・リゾート(宮崎)

今後のスケジュール

・令和8年 合同賀詞交歓会

日時:2026年1月14日(水) 15:00～17:00

場所:ホテル 椿山荘 東京 バンケット棟 1階 胡蝶(こちよう)

・第74回 通常総会

日時:2026年5月19日(火) 13:00～17:00

場所:ホテル 椿山荘 東京

